

ビルトインコンロ組込用キャビネット

UKC-602、UKC-657、UKC-660 (水切りカバー有対応用)

- このたびは、リンナイビルトインコンロ組込み用キャビネットをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書(取扱編)とビルトインコンロの取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- 設置工事前にこの取扱説明書(工事編)とビルトインコンロの設置工事説明書をお読みいただき、安全に正しく設置工事を行ってください。
- このビルトインコンロ組込用キャビネットは、ビルトインコンロの組込み以外でご使用にならないでください。
- ワークトップやキャビネット庫内底板のビニールシートは保護用です。ご使用前に取り除いてください。

取扱編

安全上のご注意

必ずお守りください。

ここに示した内容には、お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容が説明してあります。

●以下に示す内容と意味をよく理解してから本文をお読みください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です

注意



禁止

■硫酸や塩酸などの酸類やアセトン・ベンジン・ガソリンなどの商品は、絶対にキャビネット内に収納しない

これらの商品は火災の原因になります

ご使用上のご注意

●使い方について

ワークトップはステンレス製でさびにくい性質を持っていますが、使用条件や環境によってはその限りではありません。次のことを特に注意し、ご使用ください。

- ・鉄粉など付着させたり、鉄製の包丁を長時間放置しないでください。…… もらいさびの原因になります。
- ・硫酸や塩酸などの酸類や漂白剤は、絶対に使用しないでください。…… ステンレスを傷めます。

お手入れ方法

●キャビネット本体・とびら部

- ・キャビネットの本体・とびら部表面は、樹脂仕上げをしておりますので、やわらかい布に中性洗剤をつけ、汚れを拭き取り、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- ・キャビネットの本体・とびら部は、化粧合板製ですので水をこぼしたり、濡らしたりした場合は、そのつどやわらかい布で拭き取ってください。
- ・キャビネットとびらの着脱・調整方法はP2をご参照ください。

●ステンレス部(ワークトップ部)

- ・スポンジたわしに中性洗剤をつけ、汚れを拭き取り、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

お願い: クレンザーや酸性・アルカリ性などの入った洗剤、金属たわしなどの固いものは傷をつける原因となりますので使用しないでください。

アフターサービス

- 万一、故障した場合、お買い上げの販売店または最寄りの当社にご連絡ください。
- ご依頼される際にはキャビネット内に張ってある銘板を確認いただき次のことをご連絡ください。
 1. ご住所・お名前・電話番号
 2. 型式・お買い上げ日
 3. 故障内容・状況(できるだけ詳しく)
 4. 訪問ご希望日

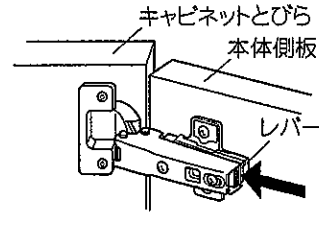
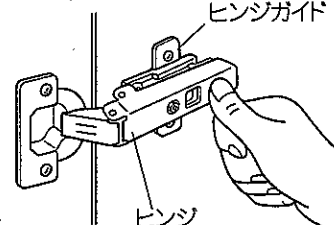
<銘板>

型式	000-000000
製番	IW0000
リンナイ株式会社	

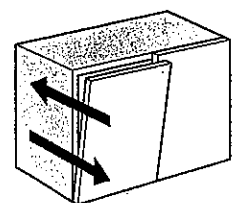
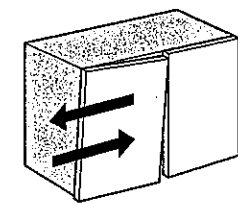
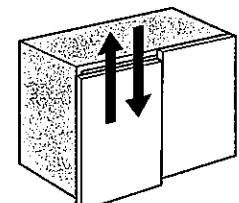
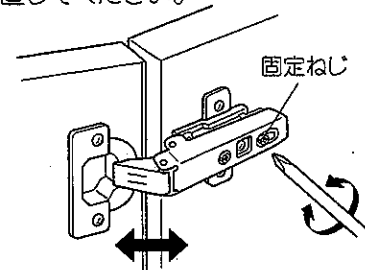
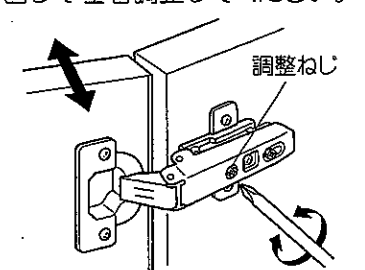
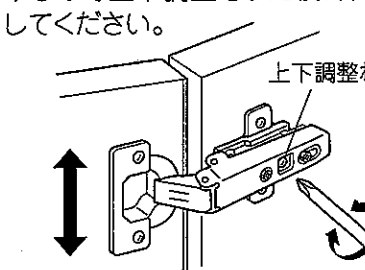
キャビネットとびらの着脱と調整方法

キャビネットとびらはワンタッチ着脱式仕様です。下図に従ってください。

●とびらの着脱方法

取りはずし方法	取付け方法
<p>本体側板のヒンジ先端部のレバーを奥側に押し取りはずしてください。</p>  <p>キャビネットとびら 本体側板 レバー</p>	<p>ヒンジガイドにヒンジの手前を当て込みヒンジの奥側を押しはめ込んでください。</p>  <p>ヒンジガイド ヒンジ</p>



●とびらの調整方法

とびらの前後調整	とびらの左右調整	とびらの上下調整
		
<p>固定ねじをゆるめて前後調整した後、締め直してください。</p>  <p>固定ねじ</p>	<p>固定ねじを締めたままで、調整ねじを回して左右調整してください。</p>  <p>調整ねじ</p>	<p>とびら上下ヒンジの上下調整ねじをゆるめて上下調整をした後、締め直してください。</p>  <p>上下調整ねじ</p>

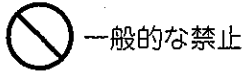
工事編


安全上のご注意




機器を安全に正しく設置工事していただくためや、設置工事業者や使用者への危害と財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

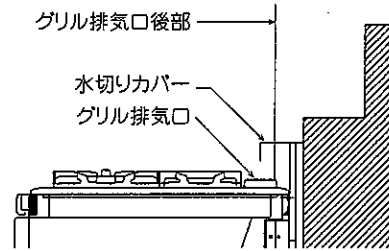
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



●絵表示には次のような意味があります。



 警告	
<p>■設置工事は必ず、この「取扱説明書」とビルトインコンロ側の「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う</p> <p>変則的な設置工事をする 事故や火災の原因になります。</p>	<p>■工事終了後は、この「取扱説明書」とビルトインコンロ側の「設置工事説明書」・「取扱説明書」をいっしょにして必ずお客様にお渡りする</p>

 警告	
<p>■ビルトインコンロ機器上方周囲は可燃物と規定の離隔距離を確保する</p> <p>火災予防条例に定められています。必ず守ってください。 離隔距離についてはビルトインコンロの工事説明書に従ってください。</p>	 確認
<p>■ステンレスの水切りカバー(水返しカバー)などでビルトインコンロのグリル排気口を覆うような設置をしない</p> <p>水切りカバーをビルトインコンロのグリル排気口上部にかからないように設置してください。ビルトインコンロのコンロやグリルの排気が水切りカバー裏側に流れ込み水切りカバー固定部の可燃性の壁などが炭化し、火災になることがあります。</p>	 禁止

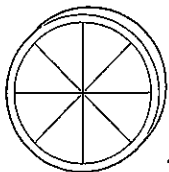


 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談する ■ 水平で安定した場所に設置する ■ 車両・船舶には設置しない ■ 設置工事の際は、けがを防止するためにも必ず手袋を使用する 	 確認

お願い	
<ul style="list-style-type: none"> ● 水のかかる所には設置しないでください。 ● 本体をタイルやモルタルなどで塗り込まないでください。 	

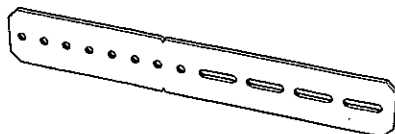
付属品の確認

配管シールパッキン



1個

転倒防止固定金具



2個

木ねじ

- 長さ12mm・・・4本
- 長さ25mm・・・2本
- 長さ32mm・・・4本

樹脂製プラグ



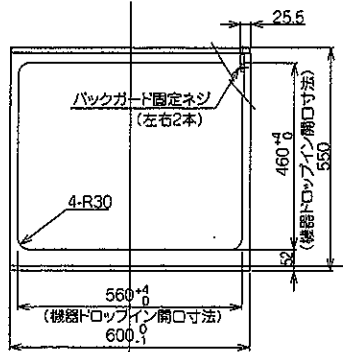
4本

外形寸法図

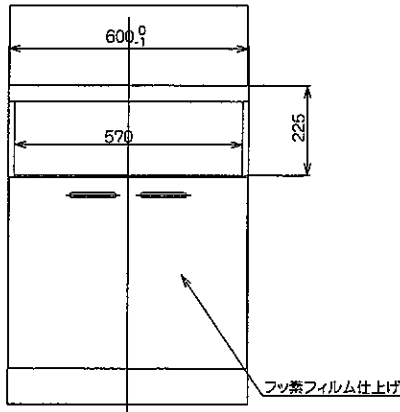
水切りカバーの有無によってバックガードの材質が異なります。

(単位mm)

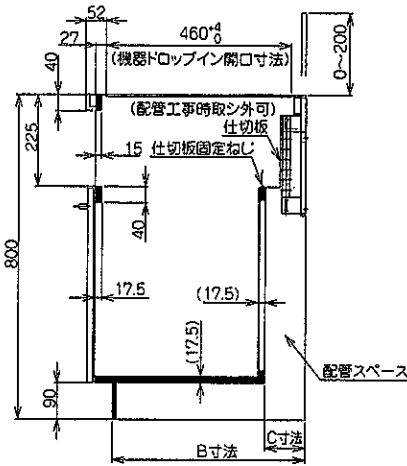
	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法
UKC-602	550	580	100	525
UKC-657	570	500	120	545
UKC-660	600	530	150	575



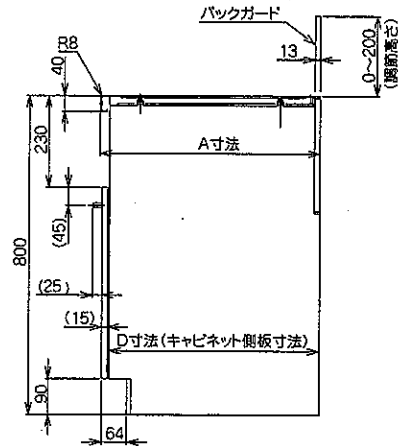
<平面図>



<正面図>



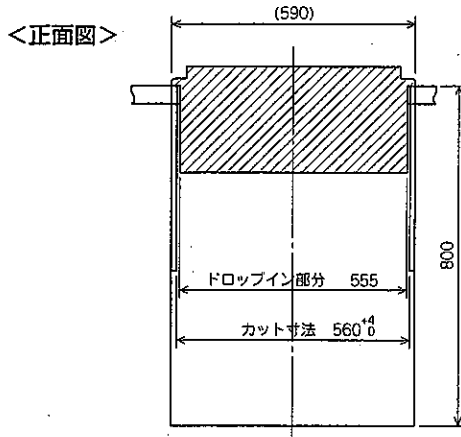
<側断面図>



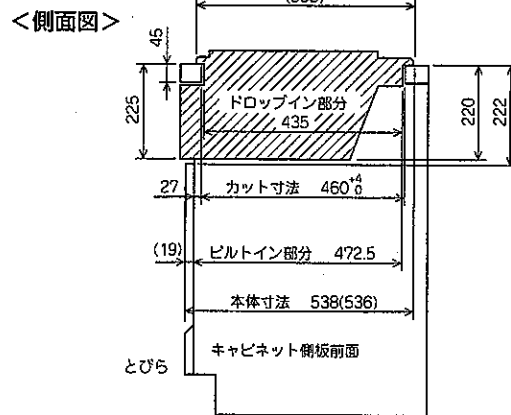
<側面図>

ビルトインコンロ設置図

(単位mm)



<正面図>



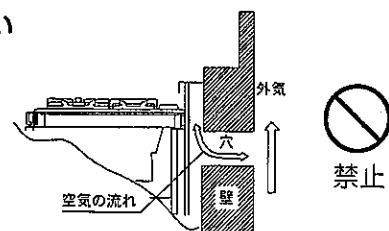
<側面図>

設置場所の確認

⚠ 警告

■キャビネット背面に外気とつながる穴がある場所に設置をしない

外気の影響によって異常な空気の流れが起こるため、機器内に炎がもぐり込んだり、キャビネット背面に排気が流れ込んだりして機器の損傷や可燃性の壁などが炭化し、火災になることがあります。外気とつながる穴がある場合は、ベニア板などで必ず穴をふさいでください。



⚠ 注意

■設置場所の確認やガス配管工事・電気配線工事はビルトインコンロの設置工事説明書に従い行う



■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

■火災予防条例で定められています。必ず守ってください。

距離が近いと火災の原因になります。また可燃物の壁にステンレス板などを、直接取り付けでご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

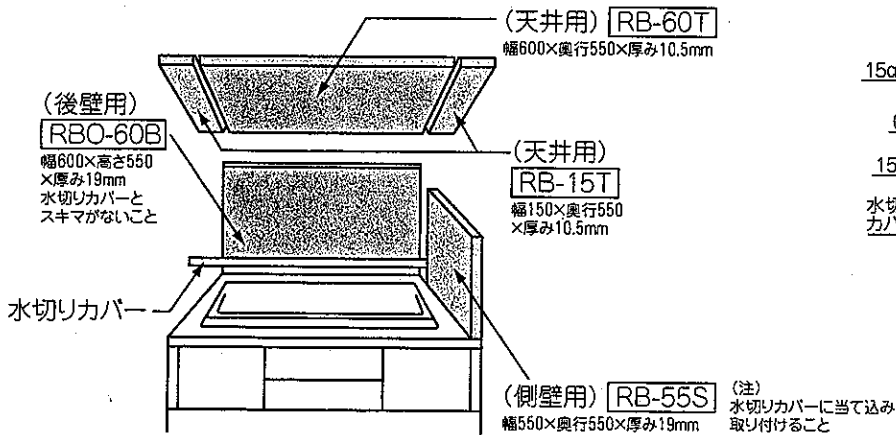
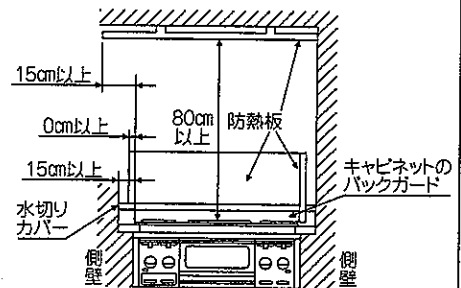
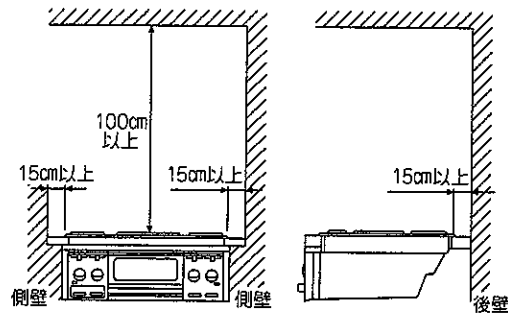
■周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合はつぎのようにしてください。

・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。

■可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から側面および後面は15cm以上、また、上部はトッププレート上面から100cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートよりも高い場合も、流し台側面を保護してください。



・可燃物との距離を確実にとる(下図参照)
・守れない場合は別売の防熱板を取り付ける



設置作業手順

●バックガードの高さ調節方法

*バックガードの高さはワークトップ面から上方に0～200mmの間で調整できます。

*バックガードの高さ調節はビルトインコンロをキャビネットに設置する前に行ってください。

●手順

①サービス用ふたを取りはずす。

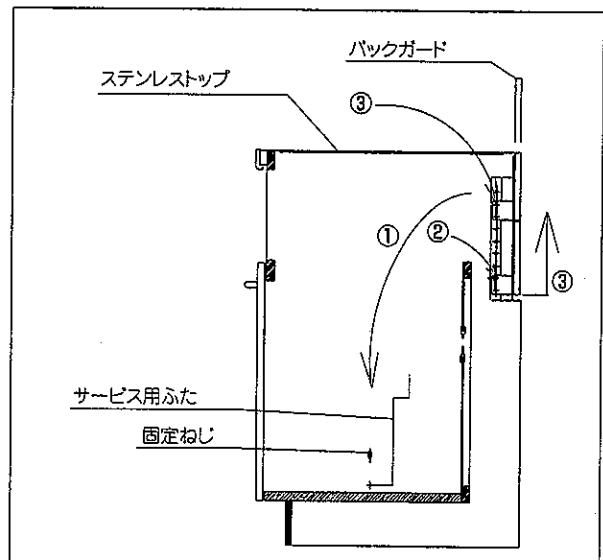
固定ねじ(3本)をはずし、サービス用ふたをキャビネット底に置いてください。

②バックガード固定ねじをはずす。

キャビネット後方側面内側(左右)のバックガードが固定ねじ(左右各2本)をはずします。

③バックガードの高さを設定する。固定ねじを取付ける。

バックガードを設定位置まで持ち上げ、はずしたバックガードを固定ねじ(左右各2本)で固定します。

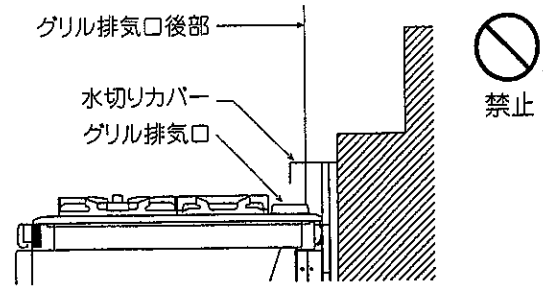


*既設キッチンのワークトップ上部につけられている水切りカバーの有無によってキャビネットが異なります。水切りカバー無し設置の場合は、別売品のRBO-601C(システムアップキャビネット専用バックガード)にバックガード部を変更し、設置工事を行ってください。

⚠ 警告

■ステンレスの水切りカバー(水返しカバー)などでビルトインコンロのグリル排気口を覆うような設置をしない

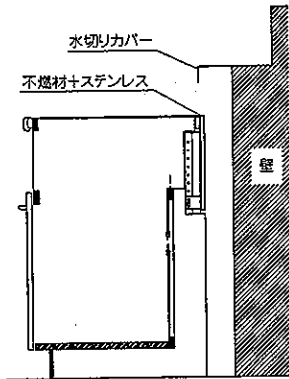
水切りカバーをビルトインコンロのグリル排気口上部にかからないように設置してください。



●バックガード高さを設定、固定する

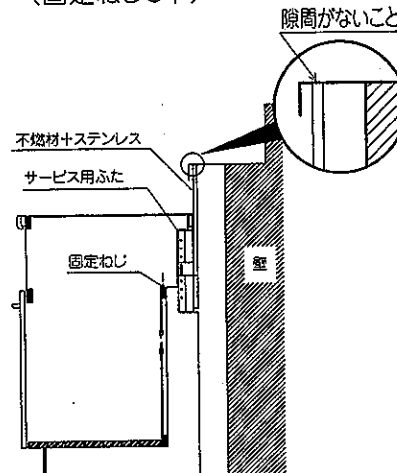
(単位mm)

1. キャビネットの不燃材+ステンレス部が水切りカバー下側になるようにキャビネットの位置を決める。

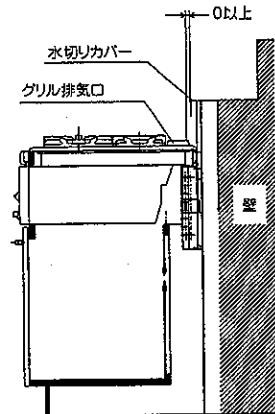


2. 不燃材+ステンレスの上部先端部を水切りカバー裏側に当てた状態で取付けねじ(左右各2本)で固定する。このとき、水切りカバーと不燃材+ステンレス上部先端部に隙間が生じないようにとりつけること。

3. サービス用ふたを取りつける。(固定ねじ3本)

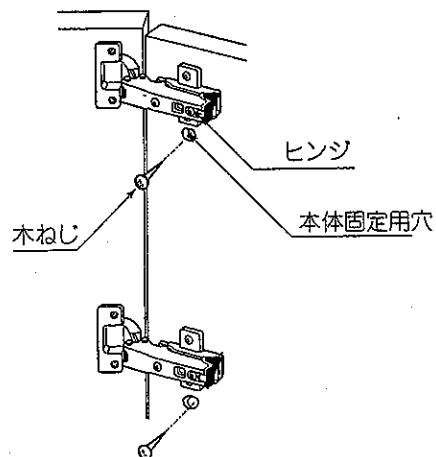


4. キャビネットにビルトインコンロを設置し、キャビネットを壁側に押し込みキャビネットの前後位置出しをする。このとき、水切りカバーがグリル排気口後部にかからないように設置すること。(0以上を確保する)



* ビルトインコンロの組込み方法についてはビルトインコンロの設置工事説明書に従って行ってください。

④ キャビネット本体を付属の木ねじ2本を使用し、既設キャビネットに固定する。
キャビネットとびらを開き、キャビネット側のヒンジ下部の本体固定用穴に木ねじ(L=25mm)を差し入れてから締込み、キャビネット本体を固定してください。

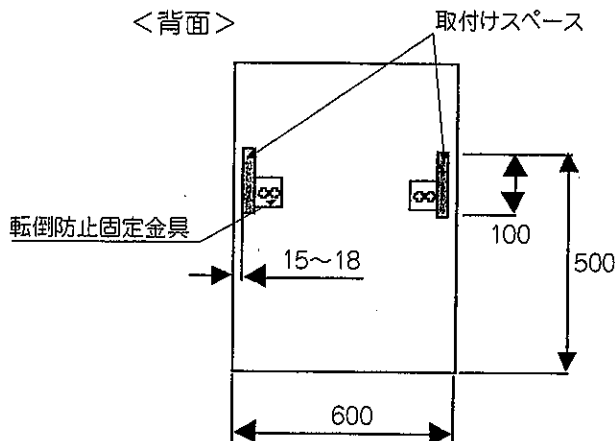
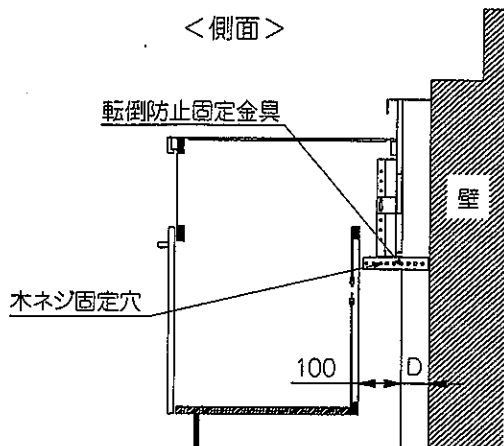


*既設キャビネットに固定できない場合

付属の転倒防止固定金具(2個)と固定ねじ(2種類、各2本)を使用し、設置するキャビネットの背面壁とキャビネット後部を固定してください。

(単位mm)

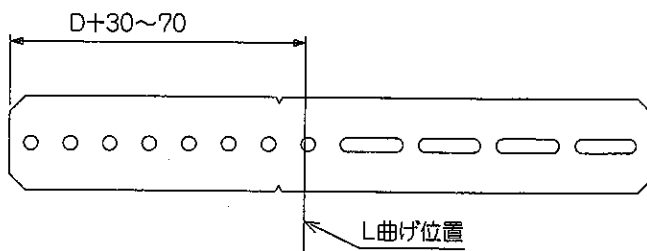
●取り付け方法



手順

① 転倒防止固定金具の丸穴側の寸法が $D+30\sim 70$ mmになるようにL曲げをする。(上図<側面>、右図参照)

② キャビネットの左右位置を決め、上図<背面>の範囲内に転倒防止固定金具のL曲げ部が取付けスペース内に収まるように転倒防止固定金具を背面壁に取付ける。



注意

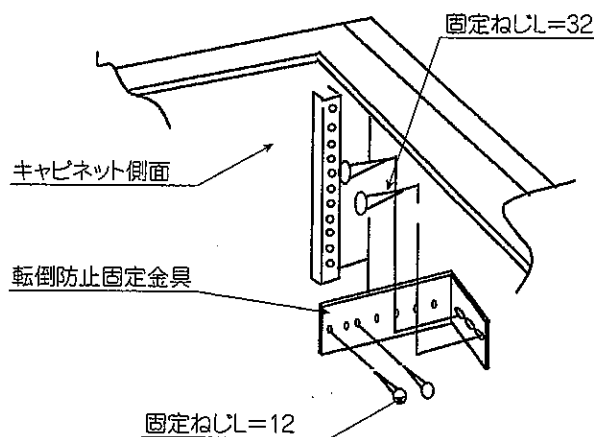
背面壁がコンクリートなどの場合は、コンクリートに直径7mm、深さ40mm以上の穴を左右に2個をあけ、付属の樹脂製プラグを打込んだ後、転倒防止固定金具を付属の木ねじ4本(L=32mm)にて背面壁に取付ける。

アドバイス L曲げ位置をモンキースパナではさみ、折り曲げると曲げやすくなります。

③ キャビネット後部のサービスふたを取りはずす。(P5参照)

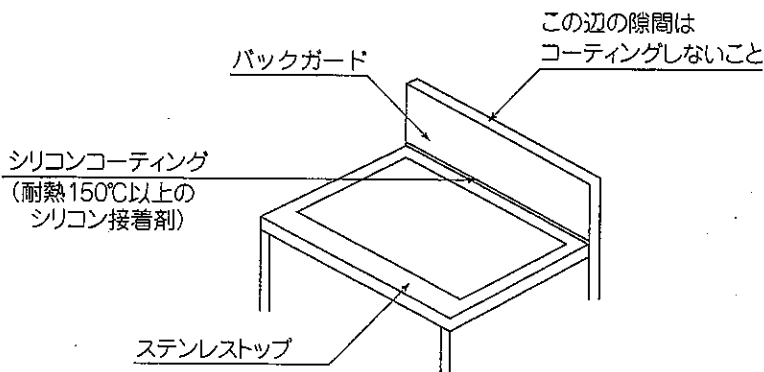
④ キャビネット内側に背面壁に固定した転倒防止固定金具がのぞむようにキャビネットを設置する。

⑤ グリル排気口上部に水切りカバーがかからないようにキャビネットの奥行位置を決め、キャビネット後部側板と転倒防止固定金具を木ねじ4本(L=12mm)にて固定する。



⑥ バックガードを高さ調節後、ステンレストップとバックガードの隙間をシリコン接着剤でシールコーティングする。

シールコーティングはキャビネット裏側への水の浸入を防ぐための物です。塗布する箇所は高温のため、市販の耐熱150℃以上のシリコン接着剤を使用してください。シールコーティングはシールテープなどでマスキングし、行うと上手く仕上げることができます。



キャビネットガス配管スペース

⚠ 注意

- 設置場所の確認やガス配管工事・電気配線工事はビルトインコンロの設置工事説明書に従って行う
- ビルトインコンロが100V仕様の場合は、ガス管に電源コードを巻きつかないようにガス配管用の配管シールパッキンに電源コードを通しコンセントへ接続する

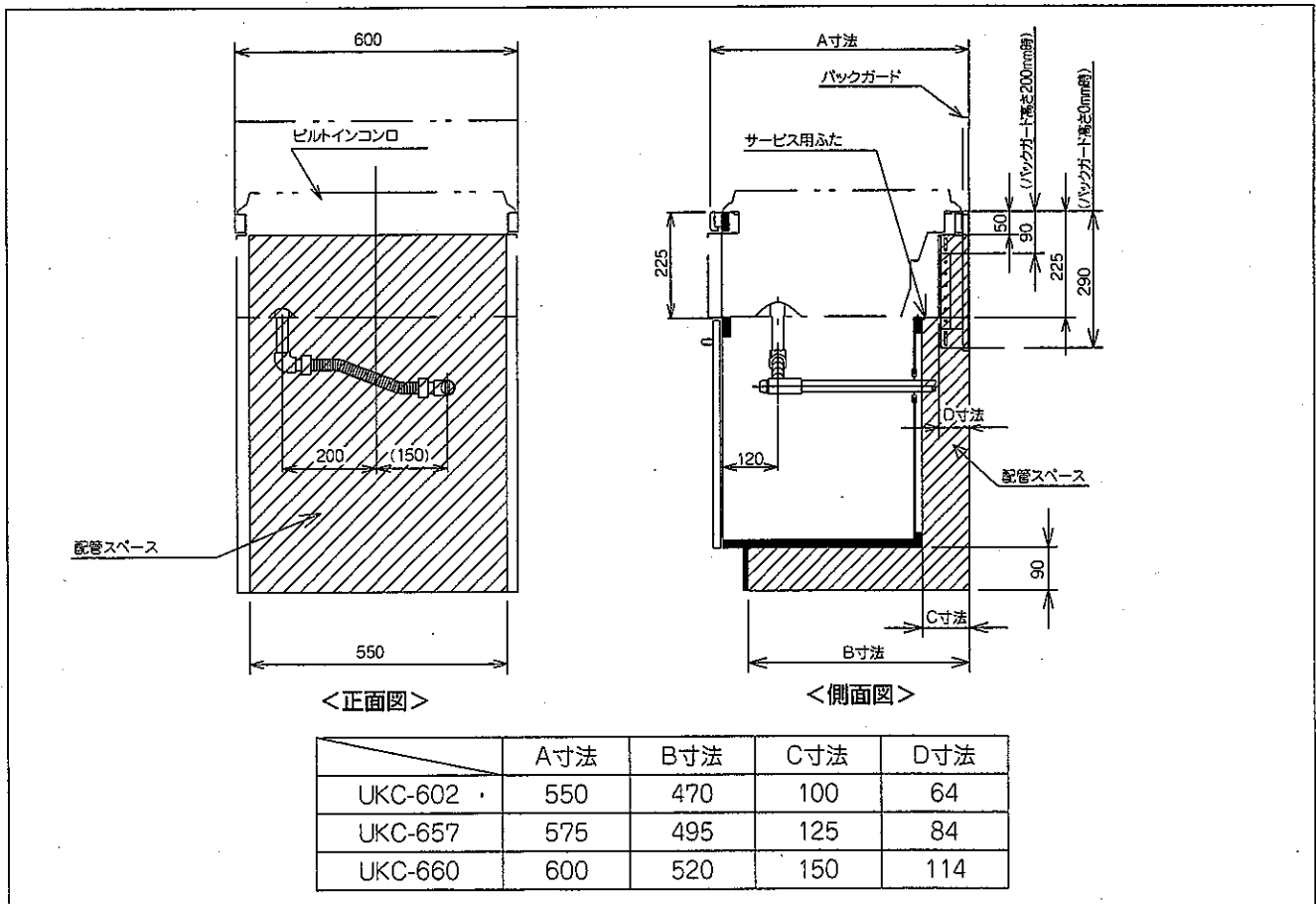


お願い

- ガス配管位置に合わせてキャビネットの背板部に直径50mmの配管通し穴をあけ、あけた穴に付属の配管シールパッキン(ゴム製)を取り付けてください。
- ビルトインコンロをドロップイン前にキャビネット裏側の工事を行われる際は、キャビネット背板上部の鉄製サービス用ふた(固定ねじ3本)を取りはずし行うことができます。
- 施工時キャビネット底部に工具などを置かないでください。キャビネット庫内底のフッ素コートに傷がつく恐れがあります。

- キャビネット後方・下部のガス配管スペースは下図に示します。
- ビルトインコンロ後方の奥行きガス配管スペースは64~114mmです。このスペースにて配管工事を行う場合は、バックガードにガス配管の通し穴用の穴あけ加工が必要です。穴あけ加工は、穴あけ専用の工具を使用し行ってください。
- バックガードは不燃材を使用しており割れやすいため加工時は十分注意し行ってください。
- バックガードにガス配管の通し穴用の加工を行った場合は、付属のシールパッキンが使用できない場合があります。シール材、アルミテープなどで必ず隙間をふさいでください。
- バックガードの設置高さによるバックガード下端寸法は以下の通りです。
 バックガード設置高さ 0mmの場合:バックガード下端寸法はステンレストップより290mm
 バックガード設置高さ200mmの場合:バックガード下端寸法はステンレストップより 90mm

(単位mm)



製造者

リンナイ株式会社

本社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号 電話052(361)8211(代)